



## 平和と暮らしを守る北九州市民の会

〒803-0817 小倉北区田町 13-21 田町ビル 3 F  
Tel 093-592-5000 FAX 093-571-4346

北九州市民の会

検索



WEB : <http://siminnokai.com>  
e-mail : [koe@siminnokai.com](mailto:koe@siminnokai.com)

### 2024年の幕開け(その1) 自民党政治に終止符打つ年に

「政治とカネ」で岸田文雄政権への国民の批判と怒りが渦巻く激動の中で、2024年が幕を開けました。自民党最大派閥・安倍派の政治資金パーティーを巡る裏金事件では、政権中枢の幹部が軒並み辞職に追い込まれ、検察の事情聴取まで受ける前代未聞の事態となっています。国民の不信は、機能不全に陥っている岸田政権だけでなく自民党全体に向けられています。「カネの力」で動く政治と決別し、国民本位の清潔な政治へ抜本的に転換することが急務です。

日本経済が「失われた30年」に陥ったのは、法人税を減税する一方、消費税増税を繰り返すなど大企業を優先し、国民生活を切り捨ててきた政治によるものです。財界と癒着した自民党政治を終わらせなくては、未来は開けません。

大企業に左右される政治を切り替えることは、国民が主人公の民主主義を実現するための重要な課題でもあります。新しい年、政治の「夜明け」を実現するために力を合わせましょう。

### 2024年の幕開け(その2) 平和の本流を進める年に

世界で多くの人々がミサイルの襲来や爆撃におびえ、飢えと寒さに耐えながら新年を迎えました。ロシアによるウクライナ侵略、イスラエルによるガザ地区攻撃と、平和に対する深刻な逆流が起きています。その中で大きな力を発揮しているのが、平和をめざす本流です。国連憲章と国際法を守れという声が多数となり、国際社会を動かしています。20世紀以降に重ねられてきた努力が礎となっています。2024年は、平和の本流をさらに前に進める年です。

東アジアでは東南アジア諸国連合(ASEAN)が、東南アジア友好協力条約(TAC)を締結し、かつて分断と敵対が横行した地域を、平和と協力の地域に変えてきました。さらに、TACの原則をもとに、東アジア規模の友好協力条約を展望するASEANインド太平洋構想(AOIP)が進められています。対立を深める米国と中国、ロシアも含む枠組みです。日本がなすべきことは、大軍拡でも、米国言いなりの外交でもありません。ASEANと協力してAOIPを共通の目標に据え、憲法9条を生かした平和外交に徹することです。

### 集団殺害止めねば、 総がかりなど19日行動

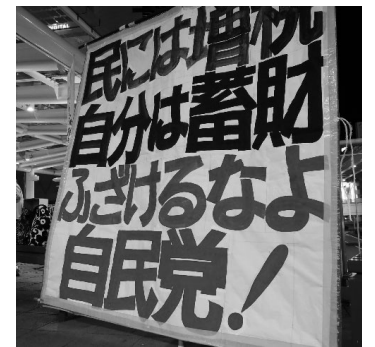


12月19日、パレスチナ・ガザ地区での即時停戦や、岸田政権の退陣を求めて、衆院第2議員会館前を中心に「19日行動」が取り组まれました。「日本政府は虐殺に加担するな」「政治タダセ!」などのプラカードを掲げて1000人が参加し、市民や政党の代表が訴えました。主催は総がかり行動実行委員会、9条改憲NO!全国市民アクション。主催者あいさつした9条壊すな!実行委員会の高田健さんは、自民党は安保3文書の閣議決定などを強行する一方で裏金づくりをやっていたと批判。「権力の腐敗を暴くのは主権者である私たちの力。引き続き声をあげよう」と訴えました。

### 北九州市では、 「平和ネット」が19日行動



北九州市では、「平和ネット」が19日定例街宣を、小倉駅と折尾駅の2か所で行いました。リレートークと宣伝ビラで二つのテーマを訴えました。一つは、自民党の裏金問題。安倍派だけでも5年間で5億円。議員秘書は「キックバックを収支報告書に記載しないのは派閥からの指示だった」と暴露。企業・団体献金は禁止すべきだと訴えました。もう一つは、ガザ地区の停戦アピール。人道的即時停戦を求める決議が圧倒的多数で国連総会にて採択されました。停戦決議が米国の拒否権で否決されても「停戦を求める世界の声」は止みません。一刻も早い停戦と平和に向けての話し合いが求められています。



### 学校給食の無償化をめざす会 ニュース No.4 2024/1/8 発行・事務局

12月15~17日 全区でクリスマス宣伝!



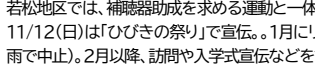
門司地区は12/15(金) 年金者組合と新婦人で、柳町商店街。机も出して署名のお願いと宣伝。



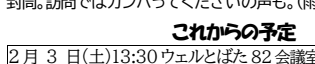
10/29(日) 小倉駅デッキ、女性の会が宣伝



小倉北地区は12/9(土)区民の会、年金者組合、健和労組、市会議員の10人で、北区・ひなたの町を戸別訪問。事前に町内会長さんをお願い、チラシ入れ。43筆集まりました。小倉地区(南・北)は17日雪の中、小倉駅デッキで27人、37筆。着ぐるみ好評。



八幡西地区は12/16(日)折尾駅前でスタンディング、10人参加。19筆、シール投票30人、資料50セット、雨の中高架下で。永井市議のツリー姿が好評!高校生が飛び入りで宣伝原稿を読む場面も!



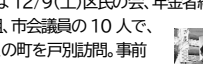
八幡東地区は16日、若い世代が多い松尾山踏切地区訪問を小雨の中決行。250軒を13人5隊で訪問・ポスティング。資料はお願い文(中面はニュース1、2号から抜粋)、チラシ、県内の無償化地図、署名用紙、返信封筒。訪問ではガンパってくださる声も。(雨のため写真なし)

これから予定  
2月3日(土)13:30ウェルとばた82会議室「5万筆めざす体制づくり」  
★事務局団体、賛同団体、署名協力団体や個人参加の皆さんで、目標の5万筆を達成するための知恵だし会議です。  
★請願提出まで7ヶ月、元気を出し合う場にしましょう!  
3月30日(土)10:00~ウェルとばた多目的ホール  
「なぜ学校給食無償化か」を考え合い、署名を広げるため多くの人々で「絶対5万筆やるよ!」と、大きく足を踏み出す場にしましょう!  
4月~5月 市議候補に「学校給食無償化」へのアンケート  
5月~6月 各区で候補者を囲んで懇談会  
7月 署名追い込みです!  
9月 「請願署名」提出

新しい年が始まりました! 「無償化めざす会」の署名も5万筆めざし、猛ダッシュで取り組まなくてはなりません。12月21日に事務局会議を開き手元の署名数を出し合いましたが、目標の5万筆には程遠い状況でした。署名提出は今年の9月議会。2025年1月、市議会議員選挙がおこなわれます。どの候補者に対しても【公約に「学校給食の無償化」を入れなければ当選できないぞ!】という声が伝わるような働きかけをおこなっていくためには、絶対に5万筆をやりあげ、さらに上積みしなければなりません。運動の輪を大きく広げることはもちろんですが、参加団体のすべての方たちが署名をし、周りに広げていくことも大事です。知恵を出し合い、地域訪問、保育所訪問、親戚友人など足を大きく踏み出しましょう! これから予定されている集会(2/3,3/30)にぜひ参加しましょう!



戸畑地区は12/16(日)10人参加。写真は一場面。走ってきでの署名もありました。



若松地区では、補聴器助成を求める運動と一体に会を結成。11/12(日)は「ひびきの祭り」で宣伝。1月にリベンジ宣伝(12/16雨で中止)。2月以降、訪問や入学式宣伝などを計画中です。



給食無償化、全国の自治体で  
どんどん広がっています!  
前回報告した時は489自治体でしたが、12月29日時点582自治体が無償化。東京は19区で、青森市、水戸市、大阪市、東京都が来年度半額補助。2026年度からは沖縄県が無償化。島根県吉賀(よしか)町ではなんと40年前から無償化実施(全国の先駆け)です。生産者、運送、消費者のつながり方を大事にしており、学校では「食育フェスタ」も開催しています。それに引き換え北九州市は、商工会議所女性部主催の市長との意見交換会で「子育て中の家族を広く支援するために無償化へシフトできないか」との問いに、その場での回答はなく後日、相も変わらず「学校給食法11条の保護者負担」「新たな財源を必要とする事業には優先順位があり、無償化にシフトするのは困難」と回答がきました。怒りが広がっています。



「学校給食の無償化をめざす会」

5万人署名に  
向けて本格始動

2024年1月15日18時30分から、「学校給食の無償化をめざす会」事務局会議を、LINE会議として開催しました。主な検討・決定事項は、二つの集会についての具体化でした。

- ①集会「5万筆めざす体制づくり」について  
2月3日(土) 13時30分～15時30分 ウェルとばた82会議室
- ②200人規模の学習会 & 決起集会  
タイトル：学校給食無償化へGO!～「希望の給食」上映会～  
3月30日(土) 10時～11時30分  
ウェルとばた多目的ホール  
内容：映画『希望の給食』(2022年製作、42分) 参加費：300円

次回の事務局会議

2月15日(木)  
18時30分  
戸畑生涯学習センター

北九州市で成人式

北九州市小倉北区のメディアドームで7日、「二十歳(はたち)の記念式典」が開催されました。例年話題になる「ド派手」な衣装は今年も健在で、個性的な衣装を身にまとった「新成人」がランウエーを歩くイベントも初めて開かれ、式典には約8000人が参加。武内和久市長は「いろんな服装、髪形でみんなすてき。誰かのチャレンジを応援できる大人になってほしい」とエールを送りました。



「二十歳の記念式典」を終え、自身も派手な晴れ着姿で参加者と交流する北九州市の武内和久市長

例年のごとく、新日本婦人の会(北九州7支部)をはじめとする北九州市の民主団体の皆さんが、新成人にエールを送りました。能登地震の支援カンパの訴えとともに、「平和なくして若者の未来はない」「ストップ戦争する国づくり」と書かれたプラカードを持ち、スタンディングをしました。

2024年3月16日(土)13:30~17:00 (受付開始 13:00~)

講演会  
初代門司港駅の出現  
発掘調査で明らかになった九州鉄道の原点に迫る

第一部  
○ 出前講演  
北九州市市民文化スポーツ局 文化企画課 課長 文化財担当係長 原田 智也 氏  
「発掘調査の概要と成果」

第二部  
○ 基調講演  
早稲田大学教授 谷川 章雄 氏  
「考古学からみた初代門司港駅」

○ 講演  
九州大学准教授 福島 綾子 氏  
「初代門司駅関連建築遺構の文化財価値」

会場 門司生涯学習センター(門司区栄町3番7号)  
資料代 300円  
定員 160名(申し込み不要・先着順)  
主催 初代門司港駅跡の保存を求める会  
協力 城野遺跡の会  
(お問い合わせ 090-7465-2372 中川)

門司生涯学習センターの位置 (駅より徒歩10分) 初代門司港駅停車場構内イメージ

北九社保協通信

報告・資料集 2023年12月号  
12月28日 事務局発行

給食費無償化へ向け、民主団体とともに地域訪問実施

北九州市での給食無償化をめざす会の提起をうけ、12月9日に社保協も加盟する地域民主団体で構成の「小倉北区民の会」で、地域訪問を実施しました。当日は天候にも恵まれ絶好の行動日和となり、総勢10名が訪問行動に参加。男女5名づつの参加であったため、2名ペアの署名隊を4組と出口市議ともう1名は町内でのスポット宣伝を行いました。今回、訪問行動を実施した「ひなたの街」は最近出来た子育て世代が多く居住している200戸近い新興住宅街です。訪問場所留守宅の多い所もありましたが、在宅の多くはインターホン越しに訪問趣旨を伝えると出て来られ、快く署名に応じてくれました。やはり、子育て世代が多いので「学校給食無償化」への関心の高さが伺えました。中には会話が弾み「北九州市は子育てしやすい街、日本一なのに学校給食が無償化じゃないのはおかしいですね。」とか、資料を見せながら県内でも北九州市の周りの自治体では無償化がすすんでいることを説明すると「ぜひ、北九州市でも実現してほしいですね。頑張ってください」と激励もうけました。また、スポット宣伝中に公園で遊んでいた子供たちが集まってきて、給食費無償化の話すると「僕たちも書いていい?」と署名する姿もありました。結果、27軒で43筆の署名が集まり留守宅には返信用封筒を付けた署名用紙を投函しました。今回は反応の良さを実感できる地域訪問行動となり参加者からも「元気が出た」などの感想がありました。やはり、宣伝行動目的と訪問地域がマッチした結果ではないかと思っています。



まだまだ続く...長引くコロナ禍と物価高騰の影響

いのちと暮らしを守るなんでも相談会に38件の相談



支援策の終了や長引く失業に新たな就労困難、さらには物価高騰の影響もあり生活困窮状態から抜け出せない方々がまだまだ多くいる現状にふれ、ふたたび4月から連携し取り組んでいる全国一斉「いのちと暮らしを守るなんでも相談会」の第4回が12月23日に実施され引き続き取り組みました。今回は従前通り、電話相談に加え対面相談も実施しました。当日は対面で3件、電話で35件の相談がありました。相談内容も、生活問題のみならず後見人・家庭問題・労働問題・債務問題・健康問題と多岐にわたりそれぞれ専門分野の相談員が対応しました。民医連の健和会から今回もMSWと看護師の派遣があり、生活相談や医療・介護・健康相談にあたってもらいました。やはり、深刻な相談も多々あり地元以外からの重要性・緊急性のある相談には当該地域の方へ繋ぎつけてもらいました。引き続き潜在する生活困窮者救済の活動が必要と実感しました。



平和と暮らしを守る  
北九州市民の会

〒803-0817  
小倉北区田町13-21 田町ビル3F  
Tel 093-592-5000  
fax 093-571-4346

http://siminnokai.sakura.ne.jp  
e-mail:koe@siminnokai.com

